

広島県支部総会報告

日時 平成 25 年 2 月 24 日(日) 14:00~18:30

場所 ホテルセンチュリー21 広島

広島県支部会員総勢 112 名中 29 名の出席のもと平成 25 年度(第 44 回)通常総会が開催されました。総会に先立ち物故会員、会員家族に対し、黙禱を捧げ総会に入りました。物故会員として故 新迫保人氏(S18v 卒)、故 荒谷簡萬氏(S19v 卒)2 名がご逝去され、我支部最長老がなくなられました。悲しいかぎりではありますが、無常の世、いたしかたなきことであります。新迫高志会員(S52v 卒)より父上の葬儀会葬のお礼の言葉がありました。そして総会へと進められていきました。今年度は政岡俊夫学長が忙しい中、講師として来広していただき例年になく盛大となりました。

市場強支部長(S34v 卒)は挨拶の中で支部運営が円滑に進められることは各代表幹事、会計担当者によるところが多いと話され、今後ご支援ご協力をお願いされました。獣医師をとりまく環境が変化してきている。大動物では福島県の放射能汚染牛が放置されている現状や、動物看護師の統一認定について、小動物 iPS 細胞の乱用に対し規制がなく無法状態であることをのべられました。そして同窓会のある姿が「絆である」ことを強調されました。政岡学長も来賓あいさつの中で同窓会の意味、卒業生の子弟に対し考慮の必要性は問題が多岐に亘っていること、平成 26 年~平成 27 年にかけて検討結果の報告をしていきたいと話されました。

議長選出は田中啓一氏(S47v 卒)が選出され事業報告、収支決算報告等スムーズに進行、承認されていきました。会員提案議題として市場支部長より役員若がえりを計りたいと提案され、代表幹事、幹事、事務局で次年度役員選考をしてほしい旨を説明され、承認されました。

ひき続き特別講演となり政岡学長は麻布大学鳥瞰図を説明。平成 27 年創立 125 周年で完成させたいとのべられました。そして、これからの世界の最大の問題は、人口問題と食糧の問題になるであろうと話されました。

閉会の挨拶を河原田圭三副支部長(S36v 卒)の謝辞とあいさつで総会が終了。写真撮影、懇親会へと移動し、白石政美同窓会本部副会長(S58a 卒)進行で始まり、和気あいあいと竹中雅彦会員(S50 卒)の乾杯で懇親の場のテープが切られ、同窓の絆を確認し、野田政昭会員(S42v 卒)の中締で盛会裡に終えることができました。

事務局 前田 茂(S46 卒)

